



活躍の現場から



● 世界とつながる新潟市を目指して —— 新潟県新潟市観光・国際交流部国際課

はじめに

古くから「みなとまち」として発展してきた新潟市は、開港5港の1つとなって以降、世界各地の都市と結びつきを深めてきました。現在、世界の7都市との間で姉妹・友好都市、交流協定都市提携を行っており、また、市内に3カ国の総領事館が設置されていることや、国際港湾・国際空港が立地する優位性や拠点性を活かして、世界各地の都市との交流を推進しています。

新潟市国際課では、姉妹・友好都市、交流協定都市のある5カ国（アメリカ、中国、ロシア、韓国、フランス）出身の国際交流員（CIR）を5人配置しています。新潟市の国際交流や多文化共生のまちづくりの推進、市民および職員に対する異文化の理解促進や啓発のための業務を担当しています。

広がる CIR の活動の場

新型コロナウイルス感染症の影響により見合わせていた各国との交流事業が再開され、CIRの活躍の場も広がっています。

現在、CIRは、表敬訪問や国際イベントなどにおける通訳、公文書・観光パンフレットなどの翻訳をはじめ、

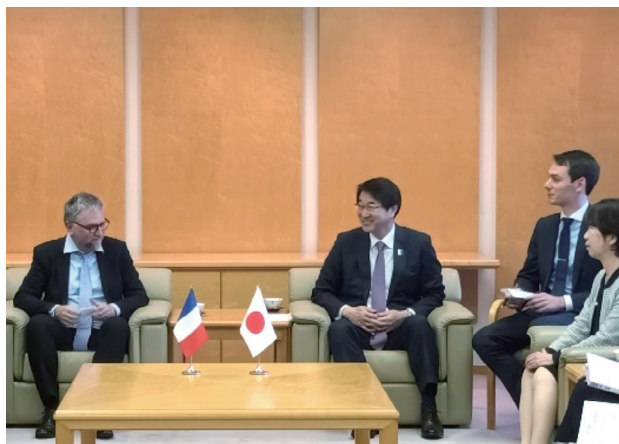
外国語での情報発信やイベントの企画・運営、市内の小中学校などでの国際理解教室といったことにも取り組み、市役所の内外で、本市における国際理解・国際交流に携わるほか、外国籍の市民にも暮らしやすい新潟市をつくるために欠かせない存在として、大きく貢献しています。

市の事業やイベントにも積極的に参加しており、毎年8月に開催される新潟まつりでは、市内在住の外国人と一緒に民謡流しに参加したり、本市の魅力発信に活かすため、文化施設の見学や湯（かた）の視察などにも参加しています。

また、5人のCIRは定期的にミーティングを行い、お互いの活動について情報交換を行っています。

子どもたちに外国を 身近に感じてもらうために

市では、市内の学校や公民館が実施する授業や事業に、CIRを講師として派遣し、出身国の暮らしや文化、遊びなどを紹介する講座を行っています。2023年度は、小学校で5回、中学校で2回、大学・専門学校で2回、公民館・図書館で4回開催しました。派遣先からは「楽しく異文化を学ぶことができた」との感想をいただいています。



2023年4月 フランス・ナント市代表団来訪
(フランス出身 CIR)



2022年11月 小学校での講座
(アメリカ出身 CIR)



2023年7月 図書館での講座
(中国出身 CIR・アメリカ出身 CIR)

CIRは、派遣先の希望に応じて、それぞれ発表や企画の内容を工夫するとともに、改善も積極的にすすめており、高い満足度を得ています。親しみやすい講座が、本市における異文化理解と共生の礎となることを期待しています。

新潟市国際交流協会での活動

CIRは、日替わりで新潟市国際交流協会でも勤務しており、外国語による相談窓口や情報誌の発行、国際交流協会が主催する各種国際交流イベントで講師を務めることもあります。「外国を知る講座」では、CIRが自ら講座のテーマを設定し、出身国の文化や歴史などを紹介する文化理解講座を企画・運営しています。より多くの市民に興味・関心を持ってもらえるよう、さまざまなテーマを取り上げたり、座学形式だけではなく料理教室を開催するなどの工夫をこらすことで、多くの方から好評をいただいています。



2023年6月 中学校での講座
(ロシア出身 CIR)



2023年12月 韓国文化理解イベント キムチづくり体験
(韓国出身 CIR)

おわりに

新潟市では、外国人住民が年々増加しており、行政のみならず地域においても、多文化共生のまちづくりの推進が重要な課題となっています。そのため、本市における施策の立案においても、外国人住民の目線からの意見は非常に重要です。

CIRは、自らの経験や日々の暮らしの中での気づき、新しいアイデアを周りの職員に共有することで、施策の中に新たな視点を与えています。このことは、職員が本市の魅力や課題を多角的に捉えなおす貴重な機会となっています。

今後の多文化共生の推進や交流人口の拡大、本市の魅力発信にあたり、CIRの活躍の場をさらに広げていくとともに、5人の益々の活躍を期待しています。また、CIRの日々の活動が、本市と諸外国との懸け橋となり、国籍や文化の違いを超えた友好が広がってゆくことを願っています。



新潟市の CIR 紹介 (新潟市ホームページ) ↑